

第三者中間評価実施状況

① 目的

事業期間の中間時に当たって、事業のプロセスと成果の達成状況を確認し、妥当性、効率性、有効性を中心に評価を行い、今後の事業実施への学びを得るとともに、説明責任を果たすことを目的として、第三者中間評価を下記の要領で実施した。

② 第三者評価委員会メンバー

- 委員長：西野桂子氏（関西学院大学総合政策学部・総合政策研究科 教授）
- 委員：長尾真文氏（元国連大学サステナビリティ高等研究所 客員教授）
- 委員：橋本昭彦氏（国立教育政策研究所教育政策・評価研究部 総括研究官）

③ 全体実施スケジュール

- 評価デザイン及びヒアリング構成案作成・日程調整：2018（平成30）年12月～2019（平成31）年1月
- 既存データ収集：2019（平成31）年1月
- 広島・東広島でのヒアリング調査：2019（平成31）年2月5日・6日
- 東京でのヒアリング調査：2019（平成31）年3月6日
- 報告書案の作成・最終化：2019（平成31）年3月～4月

④ ヒアリング項目

■ CAPWR（国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム）の妥当性やプロセスについて

- ・参加の背景、組織の方針やニーズとの妥当性
- ・CAPWRの実施体制（全体、イベント、運営等）

■ CAPWRが直接生み出した成果について

- ・活動への参加状況（参加者、人数、頻度等）、活用性、参加してのメリットと改善点
- ・女性研究者の意識や意欲、研究活動に何か変化があったか。グッドプラクティスは？

■ CAPWRを実施したことによるインパクトについて

- ・組織の制度整備及びその実施状況にどのような変化がみられるか。
- ・管理職の理解や意識、支援体制にどのような変化がみられるか。
- ・教職員、研究者または社員、及び管理職に占める女性の割合に改善がみられるか。